

- 万が一の異常時には保護者へもWEB／メールで即座に通知 -

**保護者も安心！ 保育システム「コミュなび」とアルプスアルパイン製
「送迎用バスの置き去り防止システム」が連携**

4月25日（火）より事前受付スタート！

株式会社テクノクラフト（新潟県新潟市・代表取締役 梅坂昌業）は、アルパインマーケティング株式会社（東京都大田区・代表取締役 石田宗樹）の、幼稚園や保育園の送迎バスでの園児置き去り事故防止を支援する「送迎用バスの置き去り防止システム」に、テクノクラフトの幼稚園・保育園・こども園向けクラウドサービス「コミュなび」を連携させ、充実した点呼機能でお子様の安全を総合的に管理できる新たなサービスを2023年7月より販売開始いたします。また販売に先がけ、4月25日（火）より事前受付を開始します。


【企画の背景】

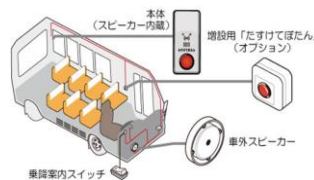
近年、幼稚園・保育園の送迎用バスでの園児置き去り事故が相次いで発生。社会問題となるにおよび、2023年4月1日より「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置」の設置が義務化され、設置に対する補助金（一台あたり上限額17万5,000円）の給付も開始されました。

こうした悲劇的な事故を繰り返さないためにも、アルプスアルパイン製の「乗降時確認式の安全装置」に加え、同社が有するセンサー技術を活用した新たな「置き去り防止安全装置（自動検知システム機能）」に、幼稚園・保育園・こども園向けクラウドサービス「コミュなび」内の送迎バス運行管理システム「バスなび」を連携させた、新たなサービスを販売開始することになりました。

今回の連携により、異常時には園などの施設以外にも職員のスマートフォンに通知が行き、安全時にも保護者へ安全確認完了メールが通知されるシステムが実現しました。

【「送迎用バスの置き去り防止システム」主な特長】
<乗降時確認式安全装置>

1. 「送迎用バスの置き去り防止安全装置ガイドライン」（国土交通省：2022年12月）の「乗降時確認式」に対応。
2. キースイッチ（イグニッションキー）をオフにすると、車内点検メッセージが流れてお知らせ。車内の点検モレを防止。
3. 車内の点検後、本体の「たすけてボタン」を長押しすることで待機モードに設定。待機モードで「たすけてボタン」を押せば、救助を求めるメッセージが大音量で車外に発信。
4. 運転席のスイッチで園児の乗降を周囲にアナウンス。危険が潜む乗降中も周囲に注意を発信。



出典：アルパインマーケティング株式会社

<本件に関するお問い合わせ先>

「テクノクラフト」PR事務局（プリズムジャパン内）担当：川野（090-6312-7983）、宇野（070-3271-6135）
 TEL：03-6849-0020 mail：kawano@prism-j.co.jp

<自動検知システム機能>

- 人体を検知する「PCRセンサー」を採用。スイッチ等の操作が不要な安心仕様
- 人体検知センサーによりエンジン停止の15分後、車内で人体を検知した場合、非常事態をWeb/メールでお知らせ
- エンジン停止の15分後に異常検知がなくても、そこから15分間検知システムが連続作動
- 人体検知センサーは、対象となる人が眠っている状態でも検知が可能
- GPSやGalileoなどのマルチGNSS（全球測位衛星システム）で測位した位置情報を無線通信し、クラウドサーバーへ提供する「GNSSトラッカー」を採用。確実に安定した車両データの送信を実現
- 12V、24V電源に対応。小型から大型までの幅広い車種に対応

<詳細>

価格：オープン価格

2023年4月25日（火）事前受付開始

※補助金用見積作成 随時受付中

2023年7月 取付開始予定

※国交省「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置性能認定」申請中

【アルパイン製「自動検知システム機能」と「コミュなび」との連携で総合的な安全管理を実現】

幼稚園・保育園・こども園向けクラウドサービス「コミュなび」と、アルプスアルパイン製「自動検知システム機能」の連携により、異常発生時の画面お知らせや先生・保護者へのメール / アプリプッシュ通知を始めとした総合的な園児の安全管理を実現します。保護者からの出欠申請や、登降園時間、今日乗るお子さんが一目でわかる「乗車リスト」を活用した点呼機能を利用し、お子様の居場所の確認を職員全員で共有することができます。

※「コミュなび」は別途利用料金が必要です

公式URL：https://www.tecraft.jp/navi/hp/bus_safety/

●園児バス置き去り防止システム（オプション）動作イメージ



- 人体検知センサー
（オートPCRセンサー：アルプスアルパイン株式会社製）



出典：アルパインマーケティング株式会社

- GNSSトラッカー（アルプスアルパイン株式会社製）



GPS トラッカー

出典：アルパインマーケティング株式会社

■「コミュナビ」と連携した 運用イメージ（登園時）

- ① 「バスナビ」 添乗アプリを起動し、コース等を選び運行を開始する
- ② 各バス停にて園児を乗車させる際に「バスナビ」 添乗アプリの乗車リストから「乗車の点呼」をチェックする
- ③ 園に戻ってきたら、園児を降車させる際に「バスナビ」 添乗アプリの乗車リストから「降車の点呼」をチェックする
- ④ 「バスナビ」 添乗アプリの運行を終了する
- ⑤ エンジン进行停止する。車内点検メッセージが流れる
- ⑥ 車内の見回り・清掃・消毒を行い、後方にある「たすけてボタン」を長押しして待機モードに切り替える
- ⑦ 園内のパソコンにて「バスナビ」 管理画面の乗車リストを開き、乗降車にチェックが入っているかを確認する
異常がない場合は、今日の運行が問題なく終了したことを、保護者へ通知する（※設定で切替可）
- ⑧ 異常発生時は、園内の端末に異常を表示する
また、指定の先生・保護者のスマートフォンに通知を送る（※設定による）

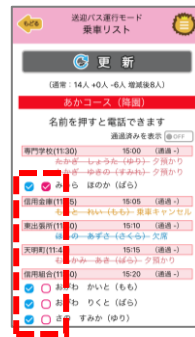
① バスナビ添乗アプリで運行を開始



② 園児乗車時にバスナビ添乗アプリにて1回目の点呼を行う。



③ 園児降車時にバスナビ添乗アプリにて2回目の点呼を行う。



④ バスナビ添乗アプリで運行を終了する。



⑤ バスのエンジンを停止する。車内点検メッセージが流れて点検を促される。



⑥ 車内の見回り・清掃・消毒を行い、後方にあるたすけてボタンを長押しし、待機モードに切り替える。



⑦ 安全装置（たすけてボタン・センサー）が見守りを継続。園内のパソコンやタブレットにて、バスナビ管理画面の乗車リストに乗降車のチェックが入っているか、異常の表示や通知が入っていないかを確認する。



⑧ 異常発生時は、園内の端末に異常を表示する また、指定の先生・保護者のスマートフォンに通知を送る（※設定による）

